

Fluoric Concert vol.20

# 歩んだこの道

あゆ

# 歌の道

心に響く詩

心に届く歌

入場料  
3,000円



2022.11.27 [SUN]

開場 13:30 開演 14:00

ソプラノ 杉田 博子  
ピアノ 平沢 匡朗

会場

甲府市  
総合市民会館  
芸術ホール

オペラ「セルセ」より『オンブラマイフ』

夢のあとに 音楽によす

初恋 宵待草

からたちの花 城ヶ崎の雨

新型コロナウイルス感染防止対策のため、ご来場の際はマスクのご着用、検温にご協力をお願いします。

後援 甲府市 甲府市教育委員会  
NPO法人日本声楽家協会 山梨日日新聞  
山梨放送 UTY FM甲府

問い合わせ Mail: co-co@land.linkclub.or.jp  
TEL: 055-222-5187(ムジカグレイス)



山梨県甲府市青沼3-5-44 TEL:055-231-1951

# Hiroic Concert vol.20 プロフィール



## ソプラノ 杉田 博子

SUGITA Hiroko

洗足学園大学音楽学部声楽科首席卒業。国内留学生として同大ドイツ歌曲研究員終了。第55回読売新人演奏家に出演し御前演奏をする。

卒業後ドイツに渡り、国立シュトゥットガルト音楽大学教授、ロバート・ヒラー氏のもとで学ぶ。リート歌手として、これまでに数多くの演奏会に出演。モーツァルトから、シューベルト、シューマン、メンデルスゾーン、ブラームス、R.シュトラウス、ヴォルフなどの歌曲を得意とする。これまでにリサイタルを19回重ねる。また、日本歌曲も積極的に取り上げ定期的に「日本の歌」の演奏会を行っている。さらにパーセル、ハイドンなどの英国歌曲や、フォーレ・ドビュッシー・プーランクなどのフランス歌曲も手がけ幅広いレパートリーを持つ。魅力的な声とともに、その演奏は好評を博してきた。

オラトリオのソリストとして、J.S.バッハ『ヨハネ受難曲』、J.S.バッハ『カンタータ』、ヘンデル『メサイア』、フォーレ『レクイエム』などに出演し、その様式をふまえた演奏には定評がある。オペラでは、ウェバー作曲『アブハッサン』の大妃、モーツァルト作曲『フィガロの結婚』スザンナ、『魔笛』パパゲーナ、松井和彦作曲

『泣いた赤鬼』村娘などを演じている。07年3月、ウィーン楽友協会のインターナショナルコンサートにおいて、シューマンのリートや日本歌曲を演奏しウィーンの聴衆を魅了した。09年11月ソウル・ソマン教会でのコンサートに出演。10年9月には韓国/全州でのジョイントリサイタル・同年11月ソウル/セントラルシティでのミレニアムコンサートに招かれる。13年12月にはソウル/ヨンサンアートホールにてソウルナショナルシンフォニックオーケストラと共演する。11年、19年にドイツ/シュトゥットガルトでサロンコンサートに出演等活躍の場所を広げている。そして、18年8月に八ヶ岳・やまびこホールで行われたピースコンサートでは、『平和の歌・祈りの歌』を歌い好評を博した。

17年11月に山梨県知事より社会福祉功労者県知事賞を受ける。前年16年2月に山梨県笛吹市より社会福祉功労賞を、同年11月に山梨県より福祉功労賞受賞。

これまでに声楽を(故)中山悌一、岡崎實俊、永井和子の各氏に、リート演奏法をロバート・ヒラー氏に、(故)E.アンドレアス、C.ヒメルの各氏に師事。日本声楽家協会会員。

2019年のリサイタルで好評を得て『春を紡ぐ/こうふ開府500年記念日独友好演奏会記念アルバム(2020年3月8日)』をリリース。



## ピアノ 平沢 匡朗

HIRASAWA Masaaki

桐朋学園大学卒業。福元さざれ、中山靖子、渡邊康雄、デートレフ・クラウスの各氏に師事。GPAダブリン国際ピアノコンクール特別賞受賞。各地よりピアノ協奏曲のソリストとして招かれたほか、ダブリン、ウィーン、東京など国内外においてのピアノリサイタル、NHK・FM『FMリサイタル』などの放送出演など、独奏者として幅広く活動している。また、室内楽奏者としても、イヴリー・ギトリス、トーマス・フェオドロフ、カリン・アダム、マルタ・カーデム=ミサク、

水島愛子(バイエルン放送交響楽団元奏者)、木野雅之、天満敦子、等のヴァイオリニスト、宮原卓也、原田茂生他多数の声楽家と共演。1996年より《Allegro Vivo・オーストリア国際室内楽音楽祭》に参加、22年にわたり音楽祭のコレパティツアー(公式伴奏者)として活動、多数のヨーロッパ若手演奏家と共演しており、その経験から得た独奏者として独自の解釈と視点による、モーツァルト、ベートーヴェン等ウィーン古典派音楽の演奏には定評がある。現在、愛知県立芸術大学及び洗足学園音楽大学において、後進の指導にあたっている。

これまで発表した主なCD

『アルト ウィーン / 平沢匡朗ロマンティックアルバム(1999年)』

『平沢匡朗 プレイズ モーツァルト(2006年 9月レコード芸術誌準推薦)』

『平沢匡朗プレイズベートーヴェン(2007年)』

『アンティーク アンソロジー(2009年)』

他多数あり、高い評価を得ている。